令和 8 年度　第 12 回　校友会福井支部総会・懇親会報告

令和 8 年 9 月 13 日（日）、秋晴れの心地よい気候のもと、「令和 8 年度　第 12 回　校友会福井支部総会・懇親会」を開催いたしました。

当日は午前 11 時 30 分より総会、正午 12 時より懇親会を執り行いました。会場には校友会会長をはじめ、大学理事長補佐といったご来賓の皆様や、日頃から福井支部を温かく支えてくださっているサポーターの皆様をお迎えし、非常に賑やかな集いとなりました。

懇親会では、参加者それぞれが近況報告を行い、世代を超えた活発な交流により親睦を深めました。特に盛り上がりを見せたのは、松川支部員による特別企画です。母校・京都外国語大学の歴史や沿革がわかりやすく紹介されたほか、若かりし頃の会長や東京・大阪支部長が登場する学園通信誌『LOGOS』の貴重な記事が披露されました。懐かしい思い出話に花が咲き、会場は始終温かな笑顔と歓声に包まれました。

本総会を通じて、母校との絆および会員相互の結束をより一層強めることができました。ご出席いただいた皆様、ならびに関係者の皆様に心より御礼申し上げます





京都外国語大学の軌跡

4つの「物語」

創立者森田一郎・愛文子は、終戦後の日本の荒廃した国土を目の前にして、その痛みと苦しみの中で、「日本の再建には教育の再建、外国語教育の復活が何よりも必要」と考えた。軍事力では外国とのトラブルは解決できず、敗戦という結末に至った。平和のためには、まず、相互に意思を伝え合うコミュニケーションが鍵を握り、語学力は必須である、二人はこの時、建学の精神「言語を通して世界の平和を」の基となる理念を見いだしていたのである。以来、70年を経た今、本学園は、大学、大学院、短期大学、高等学校、専門学校と、まさに世界を見つめる総合学園として成長・発展し、多くの卒業生を世に送り出してきた。

そこで本誌では、学園創立70周年という記念の年にあたり、学園70年の軌跡を「キャンパスの建物の変遷」で振り返ってみることにした。まず、1947年学園発祥の時代、1989年森田記念講堂ならびに11・12号館の時代、2004年1号館の時代、そして2017年4号館の時代（6月末竣工予定）へと続く建物の歴史をたどる。題して、京都外国語大学の70年の軌跡「4つの物語」である。

1947年
学園発祥の時代

この窓下は講堂に通じていた懐かしい空間

創立者森田一郎・愛文子は、東京より入洛後、築き上げた人脈を確かめるように京都在住の多くの友人・知人を訪ねまいた。そんな関係もあってか、京都外国語大学の前身となる京都外国語学校は、京都大学の近く、京都市左京区田中門前町、百万遍知恩寺境内にある左京厚生会館で、ひとまず教室を借りてのスタートとなった。5月18日に開校式・入学式が行われ、入学者は84人であった。森田一郎が93代総長に就き、森田愛文子は学監に就任した。同年9月校舎を京都市中京区西ノ京内畑町15に移転し、本部も設置した。49年には京都市右京区西院笠目町（現在地）に校舎移転、ここで二人は組織は不十分とはいえ、現在に続く学園の教育者としての道を歩き始めたのである。とはいえ、校舎や設備はまだまだ十分とはいえず、卒業式、入学式は近くの四条中学校を借りて行っていた。1951年には校舎となるべき土地を購入、徐々に学校としての体をなしていった。二人の友人・知人には、京都のみならず、東京にも有名なその道の大家といわれるような専門家が多かった。そのような先生らを教授陣に迎えられたのも、二人の尊い人脈があったからこその結果である。初代学長の小牧健夫、2代学長の松平康東、3代学長の田口卯吉郎、いずれも森田一郎が若かりし時に師と仰いだ人々で開成中学の同窓であった。こうして京都外国語大学の基礎は造んで行ったのである。

校庭の木陰で語らう





学生の憩いの場であった校舎

1989年
森田記念講堂ならびに11・12号館の時代

世界を見つめてきた11・12号館



学園創立40周年（1987年）の記念事業の一つとして位置付けられた新キャンパス建築工事。森田嘉一理事長・総長の構想はこうだ。「来るべき21世紀へ向けての指針として、学術研究機能の強化、充実を図るとともに学科の新設、定員増を主軸とする学園の拡充整備を図る必要がある」。この構想を受け、88年に11号館（低層棟2階建）、12号館（高層棟5階建）のツインビルが完成し、続く89年にはメインの森田記念講堂が完成した。11号館には、購買、書籍、会議室、事務室、12号館は学生食堂、研究室で占められ、完成した森田記念講堂とともに本学の新キャンパスとして期待が集まる。この新キャンパスは、「第1回京都市都市景観賞」に輝いている。同記念講堂は、地上3階、地下1階で延床面積は、5536㎡、客席数801。その形は四条通と現キャンパスとの両方向が正面になるように半円形に作られ、外観は11・12号館と同じグレーがかったレンガ色。四条通の一角にモダンで瀟洒な姿をみせている。同講堂内正面の半円形のステージは、幅20m、奥行



四条通から見る森田記念講堂

LOGOS 2017/5 2019/5 2020/5 2023/11



思い出写真館

キャンパスでの貴重な出会い



思い出写真館

柔道部での思い出



思い出写真館

私の宝物